

PDBj ランチョンセミナー

11月24日(金) 12:00~13:00 (4F A会場)

主催：日本蛋白質構造データバンク (PDBj)



【演題1】

PDBj と wwPDB の活動方針について

Recent activities of PDBj and wwPDB

栗栖 源嗣 (大阪大学蛋白質研究所)

PDBj (PDB Japan, <https://pdbj.org/>)は、wwPDB (worldwide PDB, <https://wwpdb.org/>)のメンバーとして蛋白質等の生体高分子の構造情報を登録し、国際協力で構築されてきた世界で唯一の PDB (Protein Data Bank) としてデータを無償で公開しています。今回のセミナーでは、X線結晶解析、NMR 解析、電子顕微鏡解析など複数手法で決定された構造モデルを登録する共通システム OneDep を通じて X線小角散乱のデータ登録が可能になった点や、PDB ID の 8 文字化など、本年 10 月に開催された wwPDB 運営諮問委員会で議論された最新の情報を紹介します。

【演題2】

Protein Data Bank の新しい登録システムと構造評価ツール

New deposition system and a validation tool of Protein Data Bank

中川 敦史 (大阪大学蛋白質研究所)

X線結晶構造解析をはじめとした蛋白質構造に関する客観的な品質管理を行うため、wwPDB では構造評価(validation)ツールを開発・整備していますが、そのツールによる validation report が、PDB ID とともに雑誌への論文投稿時の必須項目となりつつあります。そのため、登録前に構造評価を実施していただくためのスタンド・アローンシステムを整備しました。また、現在 PDB への登録は、登録データの均質化と登録作業の簡便化を目指した新しい共通登録システム OneDep で行われています。本セミナーでは、新しい登録システムと構造評価ツールの具体的な利用法を紹介します。当日は PDBj アノテーターが参加し、皆様からの質問にお答えします。